

佐野碩と世界演劇

日本・ロシア・メキシコ “芸術は民衆のものだ”

el maestro SEKI SANNO

革命歌「インターナショナル」の訳詞者

日本前衛芸術運動の旗手村山知義の盟友

ロシア・アヴァンギャルドの奇才メイエルホリドの助手

政治家後藤新平の孫

50000人の俳優を育てたメキシコ新劇運動の牽引者



マエストロ “先生” と呼ばれた日本人

革命と戦争に揺れた20世紀前半の世界を一人の演出家として駆け抜けた日本人、佐野碩（さの・せき 1905-1966）。彼の生涯を追った日本で初めての企画展示「佐野碩と世界演劇——日本・ロシア・メキシコ “芸術は民衆のものだ”」を開催します。

佐野碩は若くして日本のプロレタリア演劇の中心的な演出家として活躍。1930年代初頭にソ連に渡ると演出家メイエルホリドの助手を務め彼の演劇的手法をつぶさに学びます。その後スターリン粛清を恐れメキシコへ。テネシー・ウィリアムズの『欲望という名の電車』やアーサー・ミラーの『るつぼ』など数々の質の高い舞台を作り出すとともに多くの俳優を育て、メキシコ現代演劇の発展に貢献しました。

本展では館蔵資料を始め、ロシア、メキシコの各研究機関や関係者の協力を得て、彼の世界各国に及ぶ足跡をたどります。また上記の人々以外に、村山知義や千田是也、スタニスラフスキー、ピスカートアなどの演劇人たちの交流を紹介。20世紀の世界演劇を再検討します。

シンポジウム

佐野碩、演劇で世界に勝負を挑む！ 日本からロシア・欧州へ、そして北米・南米へ

日本・ロシア・メキシコの研究者によるシンポジウムと映像の上映を行います。

- 日時：3月1日（18時～） 佐野碩再考
- 3月2日（13時～） 日本からロシアへ、左翼演劇の可能性を求めて
- 3月3日（13時～） メキシコの佐野碩

会場：早稲田大学小野記念講堂（1日/定員200名）
8号館B101教室（2日・3日/定員300名）

佐野碩 映像上映会

上映作品：1960年代の佐野碩映像

『ラ・コロネラ』ドキュメンタリー（メキシコ制作）他

※開催日時・会場は決定次第ホームページ、Twitter等でお知らせします。



早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

Telephone 03-5286-1829
E-mail enpaku@list.waseda.jp
Website <http://www.waseda.jp/enpaku/>
Twitter @waseda_ENPAKU
Facebook <http://www.facebook.com/WasedaU.ENPAKU>

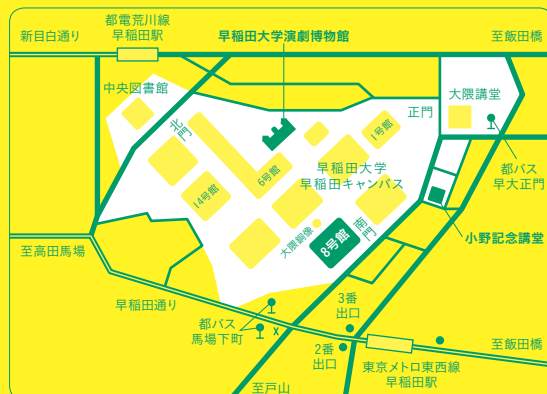
2013年3月1日(金) → 5月22日(水)

入場無料

10:00～17:00(火・金曜日は19:00まで)

※休館日：4月28日(日)～5月5日(日)

早稲田大学演劇博物館2階 企画展示室I



●JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅から都営バス早大正門行き 終点下車…徒歩2分
●東京メトロ東西線「早稲田」駅…徒歩7分 ●都電荒川線「早稲田」駅…徒歩5分

会期中の
企画展示

現代演劇シリーズ第41弾

大学路1980s 韓国現代演劇とソウル

3月1日(金)→8月4日(日) 3階現代コーナー

六世中村歌右衛門展

3月25日(月)→4月25日(木) 1階六世中村歌右衛門記念特別展示室